

広域振興局長

提出者 株式会社ユアテック 岩手支社
住所 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ4-10-53
氏名 執行役員支社長 古川 勉

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	岩手支社	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	盛岡市みたけ4-10-53	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	該当しない kl	*施設番号	
自動車の使用台数	355 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者			

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
盛岡営業所	〒020-0122 盛岡市みたけ4-10-53	該当しない kl
二戸営業所	〒028-6101 二戸市福岡字八幡下12	該当しない kl
久慈営業所	〒028-6101 久慈市新井田3-202-2	該当しない kl

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- 2 エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- 3 エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 4 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に(別途)一覧を作成の上、添付してください。(A4)



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(R6)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	対前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)		
	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量		E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)					前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	対前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
	数値 A	単位 B	数値 C	単位 D								
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL							
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL							
揮発油(ガソリン)	318.47	kL	10,637		kL	10,637	729		729			
ナフサ		kL			kL							
ジェット燃料		kL			kL							
灯油	24.15	kL	881		kL	881	60		60			
軽油	180.95	kL	6,876		kL	6,876	474		474			
A重油		kL			kL							
B・C重油		kL			kL							
石油アスファルト		t			t							
石油コークス		t			t							
石油ガス	液化石油ガス(LPG)				t							
	石油系炭化水素ガス				t							
	液化天然ガス(LNG)				t							
	その他可燃性天然ガス				t							
石炭	輸入原料炭				t							
	原料炭				t							
	コークス用原料炭				t							
	吹送用原料炭				t							
	一般炭				t							
	輸入一般炭				t							
国産一般炭				t								
輸入無煙炭				t								
石炭コークス		t			t							
コールタール		t			t							
コークス炉ガス		t			t							
高炉ガス		t			t							
発電用高炉ガス		t			t							
転炉ガス		t			t							
その他の燃料	都市ガス				t							
	()				t							
小計①												
黒液		t			t							
木材		t			t							
木質廃材		t			t							
バイオエタノール		kL			kL							
バイオディーゼル		kL			kL							
バイオガス		千m ³			千m ³							
その他バイオマス		t			t							
RDF		t			GJ/t							
RPF		t			GJ/t							
廃タイヤ		t			GJ/t							
廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t							
廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t							
廃油		kL			GJ/kL							
廃棄物ガス		千m ³			千m ³							
混合廃材		t			t							
水素		t			t							
アンモニア		t			t							
その他燃料()												
小計②												
産業用蒸気		GJ			GJ							
産業用以外の蒸気		GJ			GJ							
温水		GJ			GJ							
冷水		GJ			GJ							
地熱		GJ			GJ							
温泉熱		GJ			GJ							
太陽熱		GJ			GJ							
雷水熱		GJ			GJ							
小計③												
電気事業者①	1,354.82	千kWh	11,706		千kWh	11,706	545		545			
電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh							
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh							
自家発電		千kWh			千kWh							
太陽光		千kWh			千kWh							
水力		千kWh			千kWh							
風力		千kWh			千kWh							
その他		千kWh			千kWh							
小計④												
合計 ④=①+②+③						30,100	1,808		1,808			

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258

原油換算エネルギー使用量	777	kL
--------------	-----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素 1,808 t-CO ₂ 上記以外の二酸化炭素 t-CO ₂
メタンの排出量	t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量	t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量	t-CO ₂
合計	1,808 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

【具体的な取組状況】

・事業活動におけるCO2排出量削減など、実効性のある環境負荷低減活動について
当社ホームページにて紹介しています。

<https://www.yurtec.co.jp/>

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (R6年度)

自 動 車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	265 (63)	318,470 ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	729,337 kg-CO ₂	148
軽油	85 ()	180,950 ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	473,993 kg-CO ₂	96
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気	5	5161.5 kWh	0.402 kg-CO ₂ /kWh	2,075 kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	355 (63)			1,205,404 kg-CO ₂	

備考1 保有台数欄の () には、ハイブリッド車の台数(内数)を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】
 令和6年度を基準として、燃料使用量を毎年5%削減の目標を掲げて取り組みを進めており、ガソリン・軽油共に目標を達成することが出来た。
 今後も、下記のさらなる取り組みの継続が必要と考えている。

【具体的な取組状況】
 1、車両更新時に、ハイブリット低燃費車またはEV車の導入を図っている。
 2、エコドライブを推進した。(急ハンドル・急ブレーキ・急発進をしない)
 3、車両運行予定表を作成・実行し、輸送の効率化を図った。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項